

《児童支援専任より

☆ いのちにかかわること 編 ① ☆》

子どもたちは日々、家庭・学校・地域の中で生活しています。とても広い範囲のように感じますが、ひとたび悩みが生じてしまうと、一人で悩みを抱えてしまったり、思いつめたりして狭い範囲でしか、ものごとを捉えられなくなってしまうことがあります。その先に自分を傷つけることで、その苦しみから逃れることを選択してしまうこともあるかもしれません。このような状況になってしまう前に、学校として子どもたちには以下のようなことを伝える機会をもつ予定です。保護者のみなさまにもご承知おきいただき、お子さまが一人で悩みをかかえていたり、友達から悩みを相談されたりした際の受け皿となっていたいただけると幸いです。

【子ども向け資料】



大人に打ち明けた方がいい秘密って...

大人に打ち明けた方がいい秘密って？

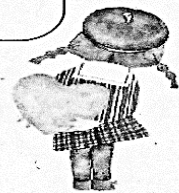
～子どもだけでは、どうにもならないこと～

- 友だちから、いじめや暴力、恐喝などの被害を受けている場合
- 親から虐待や教師から体罰を受けている場合
- 性に関する問題（セクシャル・ハラスメントに関すること、妊娠等）の場合
- 違法ドラッグや覚せい剤、アルコールなどを使っている場合
- 犯罪に関すること ○誰かに危害を加えそうな場合
- 命に関すること、自殺をほのめかされた場合

どう伝えたらいいの？

○まずは、自分から大人に話すように相手を説得してください。
「この話は、だれか（大人）に話さないダメだよ。」
「一緒に、話しに行こうか？」
「いつ、だれに話す？」

○後日、確かめることも忘れずに。
「この間のこと、誰かに話した？」



そのままだと友達の命や心が危険だと思った時にはすぐに大人に話してください！

秘密にしていることで、ますます友だちは苦しい思いをしてしまいます。友達を本当に思っているなら、勇気をもって大人に話してください。大人は真剣に一緒に考えてくれます。

○もしも、伝えられずにいたら、あなたが話してもいいか確認しましょう。
「私が、誰かに話をしようか？」

「どうしても、いや」と言われたら

24時間子ども SOS ダイヤル
0120-007-110

いじめ110番（小中学生対象）
0120-671-388

※365日 24時間 相談できます。

《児童支援専任より

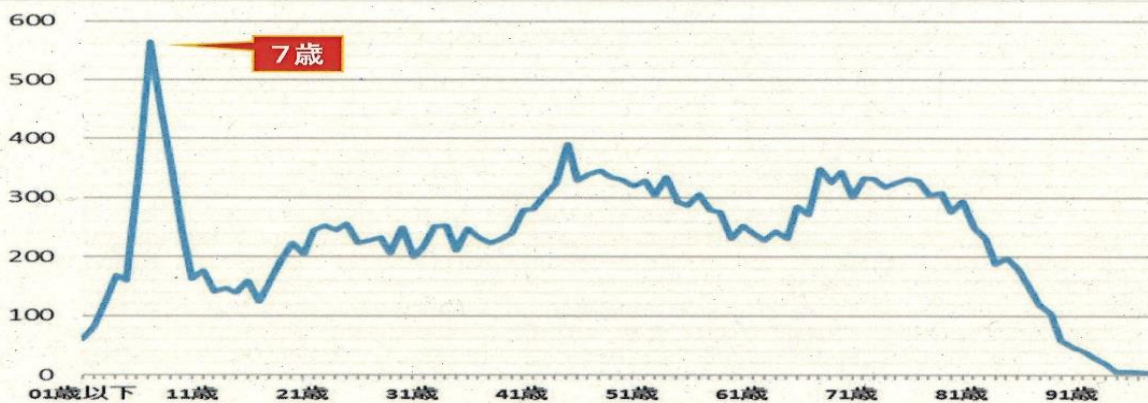
☆ いのちにかかわること 編 ② ☆》

不動丸小学校の学区は、広く、坂道や細い道が多くあります。そんな通学路を多くの子どもたちが不動丸小学校まで通ってきています。子どもたちの登下校をPTA役員、PTA校外委員さん、学援隊の方々が見守ってくださっています。学校でも、度々、学級指導や朝会で全校に注意喚起を行っています。

しかし、依然として安全とは言えない歩き方をしていることがあるようです。家庭で、以下の資料を使って、お子様と話をしてもらえると幸いです。

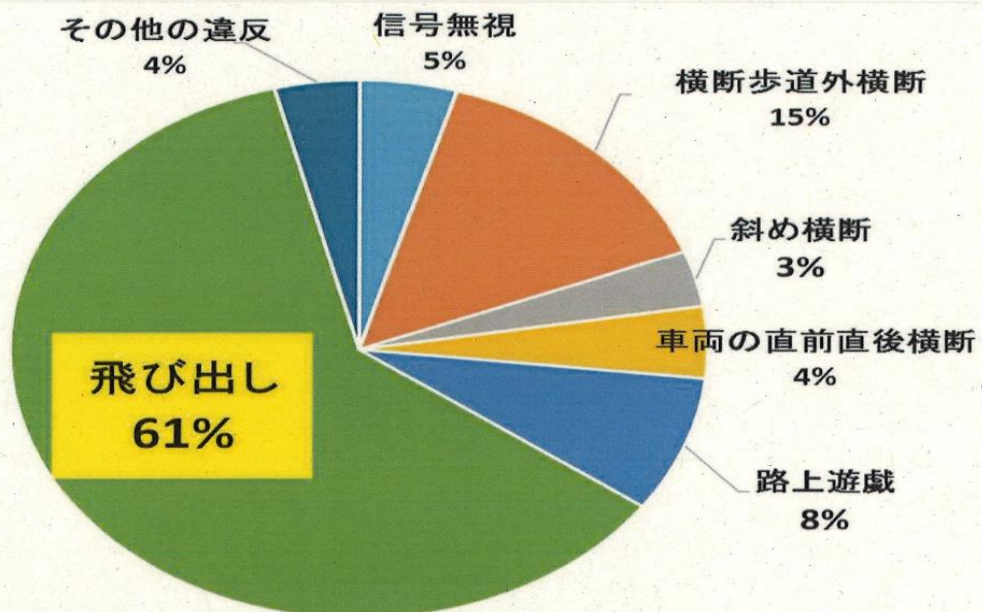
【神奈川県警察ホームページより】

過去5年間(平成28年～令和2年)の歩行中の交通事故による年齢別の死傷者数



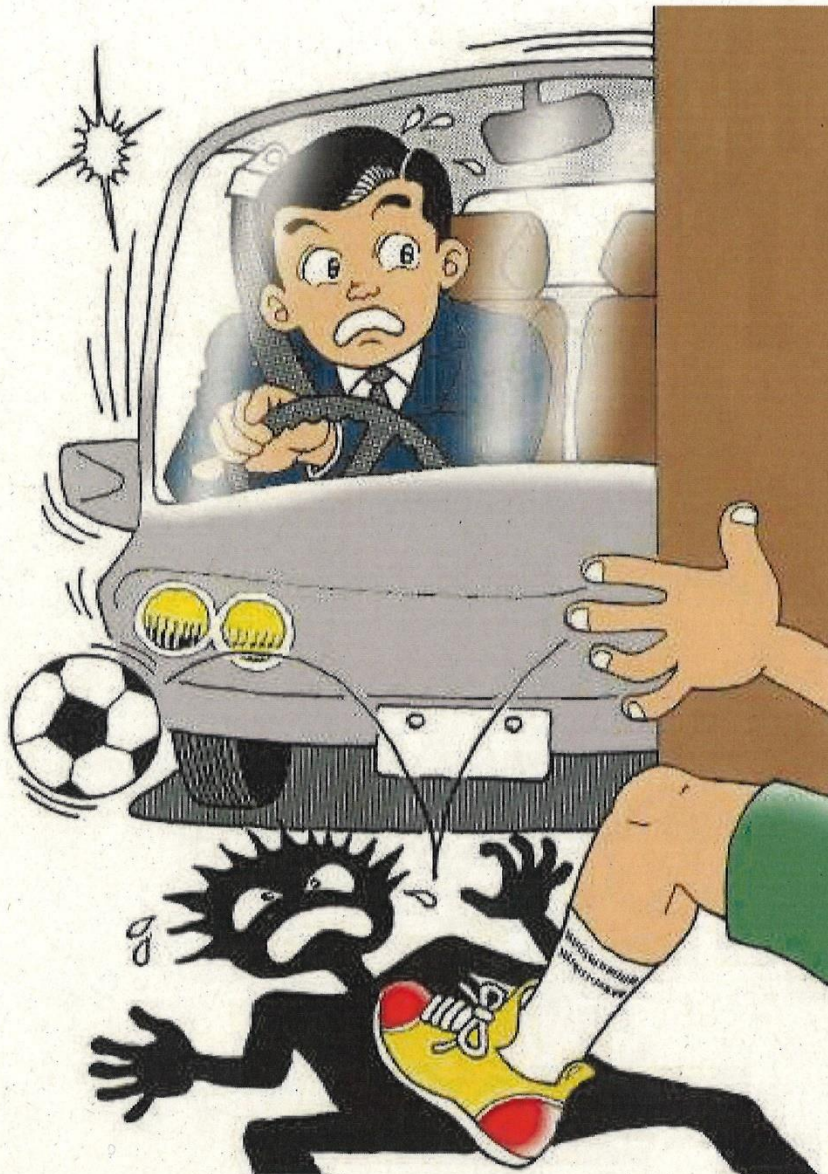
歩行中の交通事故は、7歳(小学1、2年)が最も多くなっています。

過去5年間(平成28年～令和2年)の歩行中の小学生(小学1年から小学6年)の交通事故原因別



歩行中の小学生事故の原因は、半分以上が「飛び出し」です。

※「違反なし」を除いた死傷者数で算出。



子供
の
飛び
出し
に
注意
！

神奈川県内では、平成28年から令和2年までの5年間で、**歩行中に交通事故**で死傷された方の年齢は、

7歳（小学1、2年）が最も多く、

その**原因**のほとんどは、**飛び出し**によるものです。

ドライバーの皆さん！

運転中、子供を見かけたり、見通しの悪い交差点などを通るときには、いつでも止まることができるように、十分注意して、安全運転に努めましょう。

神奈川県警察